

第 3 3 回全国一斉特設電話相談「シニアの悩み 1 1 0 番」

集計結果報告書

主催：全国シニアライフアドバイザー協会

後援：(財) シニアルネサンス財団

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃よりシニアライフアドバイザーの活動に格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

さて、9 月 22 日（土）・23 日（日）の両日、全国 7 ヶ所で開設いたしました全国一斉特設電話相談「シニアの悩み 110 番」は 382 件の相談を受けることができました。

これも偏に貴社のご協力の賜物にほかなりません。ここに厚く御礼申し上げます。

電話相談の結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。

ご査収のほど、何卒宜しくお願いいたします。

1. 開設要綱

- ・日時 平成 24 年 9 月 22 日（土）・23（日） 10：00～17：00
- ・場所 札幌・東京・名古屋・大阪・福山・広島・福岡 計 7 都市（仙台不参加）
- ・相談員 シニアライフアドバイザー

2. 相談者数・相談者の内訳

相談者数 382 人 ……………（資料 - 1、2、5）
 男性 114 人（29.8%） 女性 268 人（70.2%）

年齢別区分による順位

（資料 - 4、6）

順位	年令	人数(%)
1 位	70-74	86 (22.5%)
2 位	65-69	80 (20.9%)
3 位	75-79	66 (17.3%)
4 位	80 以上	55 (14.4%)
5 位	60-64	54 (14.1%)

*65 歳以上の方からの相談件数は、全体の 8 割以上を占めています。順位は今年 3 月開設時と全く変わりませんが、若干 65 歳～69 歳の方からの相談が増えました。今年から団塊世代が前期高齢者になったからでしょうか。

*女性の相談は年齢からくる健康不安、周りの親族の介護の心配、子供の離婚等多岐に亘っています。

＊男性の場合、前回は圧倒的な件数で「遺言相続」が一位でしたが、今回は「家族親族」の相談が全ての協会が目立って多くありました。配偶者や子供との関係悪化が起因して家族の中で孤立化しているケースが多くなり、自ら家族と関わらなくてという意識が出て来たのだと思います。

3. 相談内容 全体（上位5項目・382件中）

（資料 - 1、2、3、4、5）

相談順位	項目	件数 (%)
1位	家族・親族	101件 (26.4%)
2位	遺言・相続	67件 (17.5%)
3位	健康・医療	48件 (12.6%)
4位	経済	32件 (8.4%)
5位	住居	24件 (6.3%)

1位 家族・親族 ～～嫁姑相談より親子間の相談が多くなった～～

毎回親子関係の希薄さが相談内容から窺えましたが、更にその状況はひどくなっています。経済基盤が弱い高齢者よりも、更に自立出来ない子供や孫がおり、援助要請に高齢者は苦しんでいます。援助を求めるわりには高齢者に寄りそう気持を示さず「無心される辛さに加え孤独」を嘆いておられます。

2位 遺言・相続 ～～特定の人に相続させたい～～

今年3月は遺言相続が相談のトップでした。遺言書の正しい書き方や保管場所等、専門家に聞くほどではない内容が多く、身近な相談先として活用して頂けました。冷え切った親子関係のため子供に相続させたくないという親、世話になっている嫁や施設、また国などに遺贈したいという人が増えています。また離婚、再婚、養子縁組と複雑化した家族構成は相続を難しくしています。

3位 健康・医療 ～～健康に不安を抱えながら、子供に頼れない淋しさ～～

加齢が進むほど、健康に不安を感じるのは当然ですが、家族間の温かい人間関係が希薄になっていることから、子供や親族を頼りに出来ない辛さや孤立感を訴えて来られました。「病気」になったときに「保証人」がいなかったために入院や手術が受けられない相談も開設以来、毎回寄せられますが、いまだに解決していない深刻な問題です。

4位 経済 ～～年金だけでは生活できない、生活保護を受けたい～～

ここ数年、生活苦を訴える電話が多いですが、前回くらいからいよいよ生活保護のお世話にならないと暮らせないほど厳しい実情だと訴えてきています。

5位 住居 ～～保証人がいないために～～

毎回寄せられる「保証人」問題。親族縁者がいなくなったり、疎遠だったりして「転居」や「施設入所」が困難というケースがますます増えています。親族の高齢化並びに人間関係が希薄になってしまった現在の状況を見据えて早急に制度改善対策が必要です。

4. 「暮らしの形態別」相談内容

(資料 - 2、7、8)

「夫婦世帯」「一人世帯」「家族同居世帯」の3形態の暮らし方で相談内容の相違を検証しました。
相談件数では

世帯	件数	%
一人世帯	190件	49.7%
夫婦世帯	99件	25.9%
家族世帯	93件	24.3%

3世帯とも1位「家族・親族」2位「遺産・相続」3位「健康・医療」の順での相談でした。

「一人世帯」：上記に加え「年金」「経済」「終末期」の悩みが二重三重に複雑化し、スムーズに解決出来なくなっています。子供と不仲で遺産相続を終えていない人、家族親族トラブルで鬱状態の人もおられました。しかし一方自立心を持って老人ホームを探したり、遺言書を書こうという高齢者も多いです。

「夫婦世帯」：夫婦間の風通しの悪さを感じます。夫婦のどちらかが健康に問題を抱えたときの対処方法、夫婦2人になったときのライフプラン等を団塊世代中心に立ててみるのが必至です。夫婦世帯では民生委員の訪問がないので、相談する機会が少ないことを特記します。

「家族同居」：同居していても心安らかな生活は望めず、高齢になっても子供や兄弟の面倒を見なくてはならない辛さを訴える電話が全国的にありました。「二世帯住宅」で家族仲良く暮らそうという宣伝に乗って暮らしたが実情はトラブルが絶えず、別居してしまうケースも少なくないことに驚きました。銀行や住宅会社等と一緒に売れ込む姿勢に疑問を感じました。

[添付資料]

資料－1：相談内容順位別・協会別集計表

相談内容の多い順に件数を列記。男女別、協会別、誰についての相談かを記載。

資料－2：相談内容順位表（過去5回実績対比）

相談内容の多い順に件数を列記。男女別、暮らしの形態別、誰についての相談かに加えて、過去5回の相談内容の順位を表記。

資料－3：相談内容年度別順位推移表グラフ

過去6回の相談内容の順位の推移の動きをグラフとして表示。当期は赤で表示。

資料－4：相談内容順位別・年齢別集計表

相談内容の多い順に件数を列記。男女別、年齢別、誰についての相談かを記載。

資料－5：相談内容別・男女別件数グラフ

相談内容の項目別の男女の件数を横棒グラフで男女の比率を円グラフで表示。

資料－6：年齢別相談件数グラフ

年齢別に相談件数をグラフで表示。

資料－7：相談内容順位別（暮らしの形態別）グラフ

相談内容の多い順に各項目を暮らしの形態別に表示し、形態別件数を円グラフで表示。

資料－8：協会別 暮らしの形態別件数・暮らしの形態別グラフ

協会別に暮らしの形態別の件数をグラフで表示。

【今回の社会提言】

歯止めが掛らぬ、親子関係の悪化

～～繋ぐ努力をしないと孤独化、孤立化が進む～～

数年前までは嫁姑間のトラブルが家族関係の相談として多く寄せられていました。この問題は古く、現代もまだ続いています。それ以上に深刻な問題となってきたのが親子関係です。

平成 24 年度「高齢社会白書」（内閣府発行）によりますと、三世帯世帯は減少傾向である一方、高齢者のいる世帯は全体の 4 割、そのうち「単独世帯」「夫婦のみの世帯」が過半数を占めていると述べています。このように、核家族化が進み、親と子供が別世帯で暮らすスタイルが大変多くなっています。

家族だから自然に繋がっているだろうと思い、お互いに配慮する努力を怠っていると、気がつけば音信不通になっていたり、日頃の疎遠な関係で、悩みを相談できない、あるいは終末期ケアも当てに出来なくなっているというような高齢者が思いのほか多いです。

その結果、当然「孤独化」「孤立化」が一段と進んでいくことが予測されます。こうならないためには、長い時間を掛けて家族親族と繋がる努力をし続けることがなにより必要です。

出来るだけ早い時期、できれば 50 歳前後から退職後の経済面を含めた「ライフプラン」を、夫婦、子供達と共同で立て、親子ともども、納得した暮らしができるようにして頂きたいものです。

～～長引く経済不況も一因に～～

子供世代が失業、離婚、病気、障害等で自立したくとも就職が難しくなりますと、少ないながらも経済面で安定している家族親族を頼らざるを得ないほど社会が厳しい状況になっています。

さらに親の年金を当てにして就職しない子供も増えているのも事実ですが、一方で経済的にも、精神面でも子供に頼れない厳しさや寂しさも親子関係を悪くしているかもしれません。

【参考】

*財団法人シニアルネサンス財団

財団法人シニアルネサンス財団のホームページ <http://www.sla.or.jp> をご覧ください。

*シニアライフアドバイザー（SLA）

財団法人シニアルネサンス財団（1992年設立、内閣府主管）が中高年齢者総合生活相談員の養成事業におけるシニアライフアドバイザー養成講座を修了し、その資格審査に合格した者です。

シニアライフアドバイザー（SLA）は人生90年時代、定年退職後・子育て終了後に迎えるシニアライフを健康で経済的困難なく、かつ不安やトラブルもなく、生き甲斐をもって幸せに生きられるようにアドバイスしたり、シニアと共に問題解決を図ることをモットーとしてボランティア活動を行っています。

現在シニアライフアドバイザー（SLA）は全国に2,600名（2010年10月現在）おります・

*全国シニアライフアドバイザー協会

全国で活動している8協会をサポートする事務局です。

8協会は次の通りです。

北海道 SLA 協会（札幌）・東北 SLA 協会（仙台）・関東 SLA 協会（東京）・中部 SLA 協会（名古屋）・関西 SLA 協会（大阪）・東中国 SLA 協会（福山）・中国 SLA 協会（広島）・九州 SLA 協会（福岡）

事務局を（財）シニアルネサンス財団事務所内に置き、平素はそれぞれの協会が社会に向けた活動をしていますが、活動の一環として春3月、秋9月の年2回第4週目の土曜日、日曜日に全国一斉特設電話相談「シニアの悩み110番」を開設し、19年を数えました。

お問い合わせ

全国シニアライフアドバイザー協会 事務局 石寺 弘子

電話：090-5999-7662（石寺） E-mail: slanet428zenkoku@gmail.com

東京都千代田区九段南3-5-10 九段菊江ビル3F （財）シニアルネサンス財団内

全国一斉特設電話相談「シニアの悩み110番」

相談内容順位別・協会別集計表

(資料-1)

実施日：平成24年9月22日・23日

区分	件数	性別		協会名							誰についての相談か		
		男	女	北海道	関東	中部	関西	東中国	中国	九州	本人	家族	友人等
家族・親族	101	22	79	14	24	21	11	5	14	12	35	65	1
遺言相続	67	13	54	9	5	29	1	3	12	8	47	19	1
健康医療	48	10	38	4	9	9	9	3	9	5	38	9	1
経済	32	16	16	2	9	7	1	3	3	7	23	8	1
住居	24	11	13	4	8	8	1	1	0	2	23	1	0
年金保険	21	10	11	3	4	0	9	0	0	5	18	2	1
生き方	19	7	12	3	3	6	3	1	1	2	19	0	0
介護福祉	16	3	13	0	4	4	4	0	3	1	6	9	1
終末期	16	6	10	3	0	4	2	6	1	0	13	3	0
人間関係	14	2	12	3	5	2	1	1	1	1	9	0	5
その他	11	7	4	3	2	0	3	0	2	1	6	0	5
消費生活	5	3	2	0	2	3	0	0	0	0	4	1	0
成年後見	4	1	3	0	0	1	2	0	0	1	1	2	1
仕事	4	3	1	1	1	0	0	0	0	2	3	0	1
	382	114	268	49	76	94	47	23	46	47	245	119	18
	%	29.8	70.2	12.8	19.9	24.6	12.3	6.0	12.0	12.3	64.1	31.2	4.7

全国一斉特設電話相談「シニアの悩み110番」

相談内容順位表 暮らしの形態別、誰についての相談か (過去5回実績順位)

(資料-2)

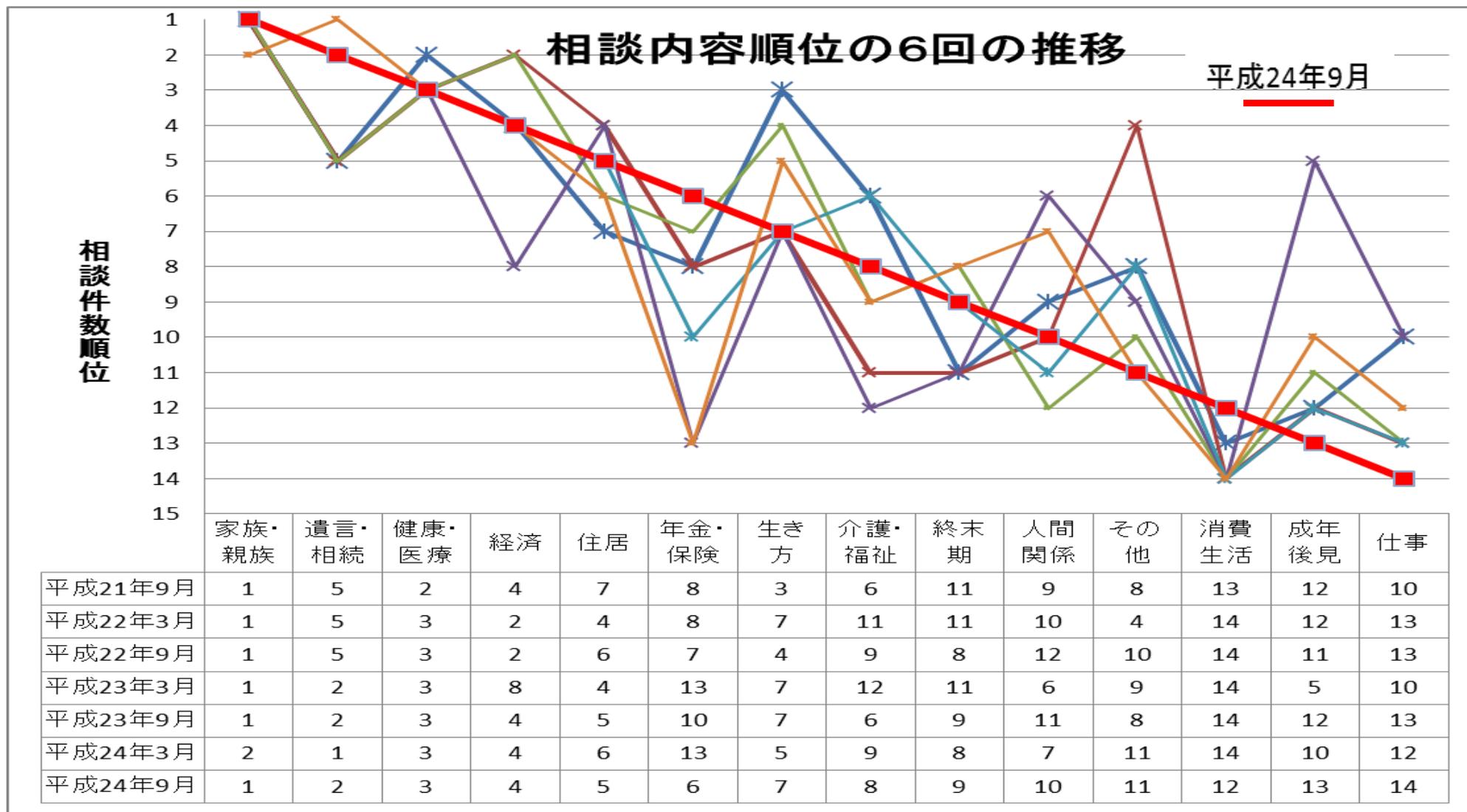
実施日：平成24年9月22日・23日

区分	合計		性別		暮らしの形態別			誰についての相談か			順位				
	順位	件数	男	女	夫婦世帯	一人世帯	家族同居世帯	本人	家族	友人等	24年3月	23年9月	23年3月	22年9月	22年3月
家族・親族	1	101	22	79	26	39	36	35	65	1	2	1	1	1	1
遺言相続	2	67	13	54	16	27	24	47	19	1	1	2	2	5	5
健康医療	3	48	10	38	12	25	11	38	9	1	3	3	3	3	3
経済	4	32	16	16	11	15	6	23	8	1	4	4	8	2	2
住居	5	24	11	13	7	14	3	23	1	0	6	5	4	6	4
年金保険	6	21	10	11	5	15	1	18	2	1	13	10	13	7	8
生き方	7	19	7	12	4	13	2	19	0	0	5	7	7	4	7
介護福祉	8	16	3	13	5	6	5	6	9	1	9	6	12	9	11
終末期	9	16	6	10	1	15	0	13	3	0	8	9	11	8	11
人間関係	10	14	2	12	5	7	2	9	0	5	7	11	6	12	10
その他	11	11	7	4	3	7	1	6	0	5	11	8	9	10	4
消費生活	12	5	3	2	2	3	0	4	1	0	14	14	14	14	14
成年後見	13	4	3	1	0	3	1	1	2	1	10	12	5	11	12
仕事	14	4	1	3	2	1	1	3	0	1	12	13	10	13	13
合計		382	114	268	99	190	93	245	119	18					
		%	29.8	70.2	25.9	49.7	24.3	64.1	31.2	4.7					

全国一斉特設電話相談「シニアの悩み110番」
相談内容年度別順位推移表グラフ

(資料-3)

実施日：平成24年9月22日・23日



全国一斉特設電話相談「シニアの悩み110番」
相談内容順位別・年齢別集計表

(資料-4)

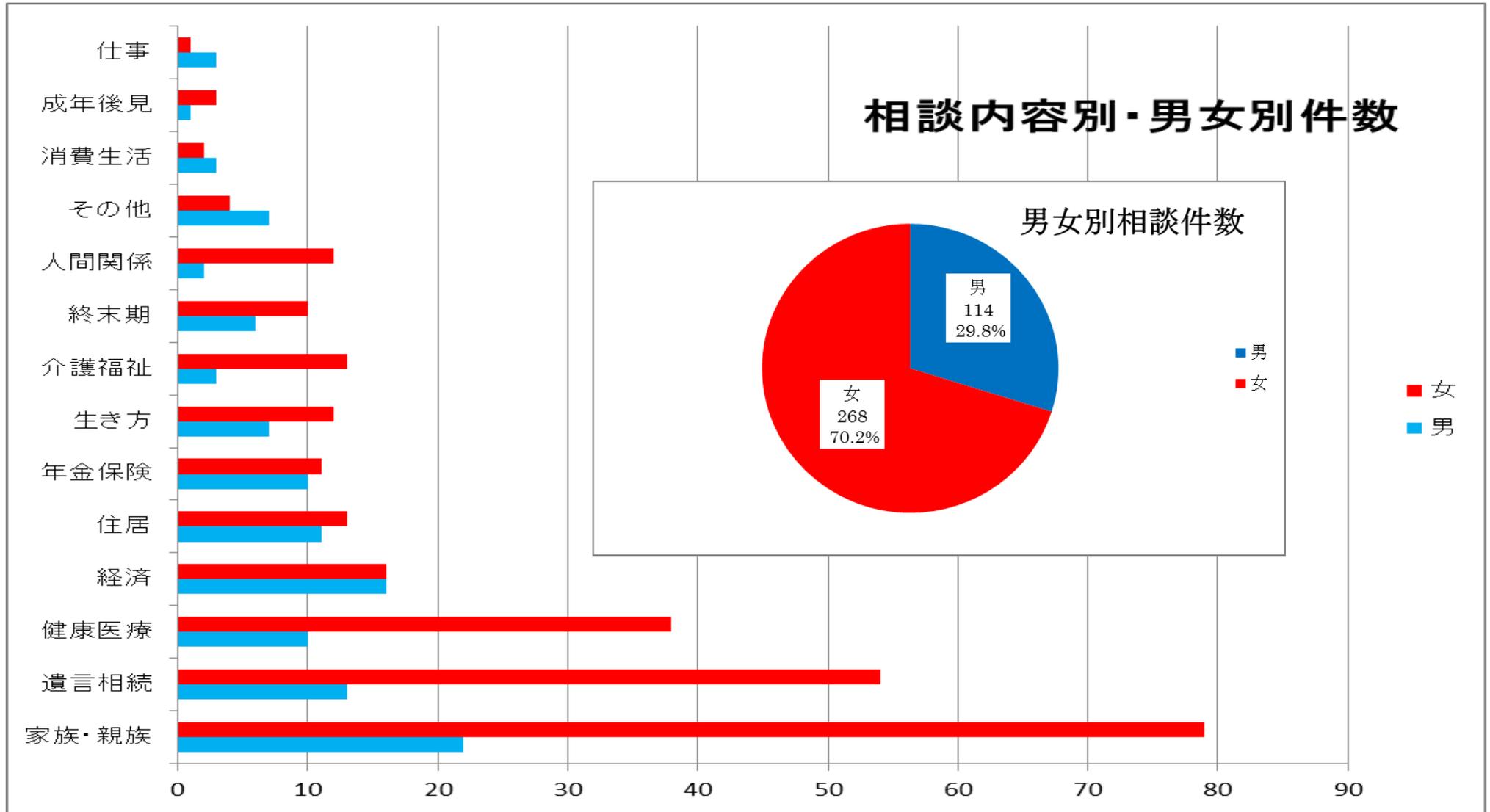
実施日：平成24年9月22日・23日

区分	件数	性別		年齢区分(歳)									誰についての相談か		
		男	女	45歳以下	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80歳以上	本人	家族	友人等
家族・親族	101	22	79	0	1	5	4	17	26	22	13	13	35	65	1
遺言相続	67	13	54	0	0	5	3	11	14	18	8	8	47	19	1
健康医療	48	10	38	0	1	1	3	5	10	15	10	3	38	9	1
経済	32	16	16	0	0	2	0	2	6	8	7	7	23	8	1
住居	24	11	13	1	1	0	0	4	5	2	6	5	23	1	0
年金保険	21	10	11	0	0	0	0	5	2	10	0	4	18	2	1
生き方	19	7	12	0	0	1	1	3	4	4	4	2	19	0	0
介護福祉	16	3	13	1	0	1	2	2	1	2	6	1	6	9	1
終末期	16	6	10	0	0	0	2	3	3	1	2	6	13	3	0
人間関係	14	2	12	1	0	2	0	1	5	1	3	0	9	0	5
その他	11	7	4	0	1	1	0	0	2	1	3	3	6	0	5
消費生活	5	3	2	0	0	0	0	0	0	1	2	2	4	1	0
成年後見	4	3	1	0	0	0	0	0	2	0	1	1	1	2	1
仕事	4	1	3	0	0	1	0	1	0	1	1	0	3	0	1
合計	382	114	268	3	4	19	15	54	80	86	66	55	245	119	18
	%	29.8	70.2	0.8	1.0	5.0	3.9	14.1	20.9	22.5	17.3	14.4	64.1	31.2	4.7
	年齢別順位			9	8	6	7	5	2	1	3	4			

全国一斉特設電話相談「シニアの悩み110番」
相談内容別・男女別件数グラフ

(資料 - 5)

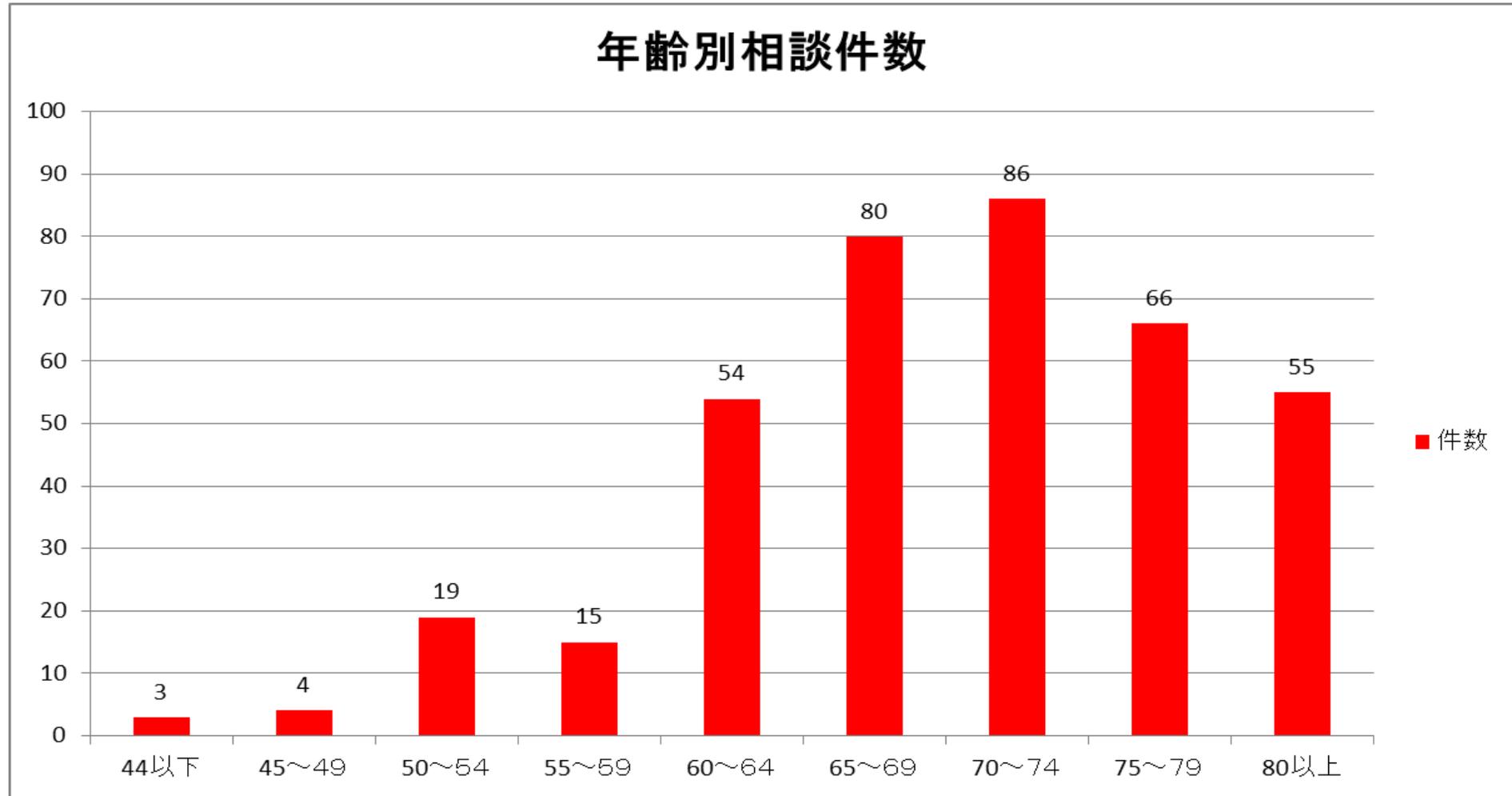
実施日：平成24年9月22日・23日



全国一斉特設電話相談「シニアの悩み110番」
年齢別相談件数グラフ

(資料 - 6)

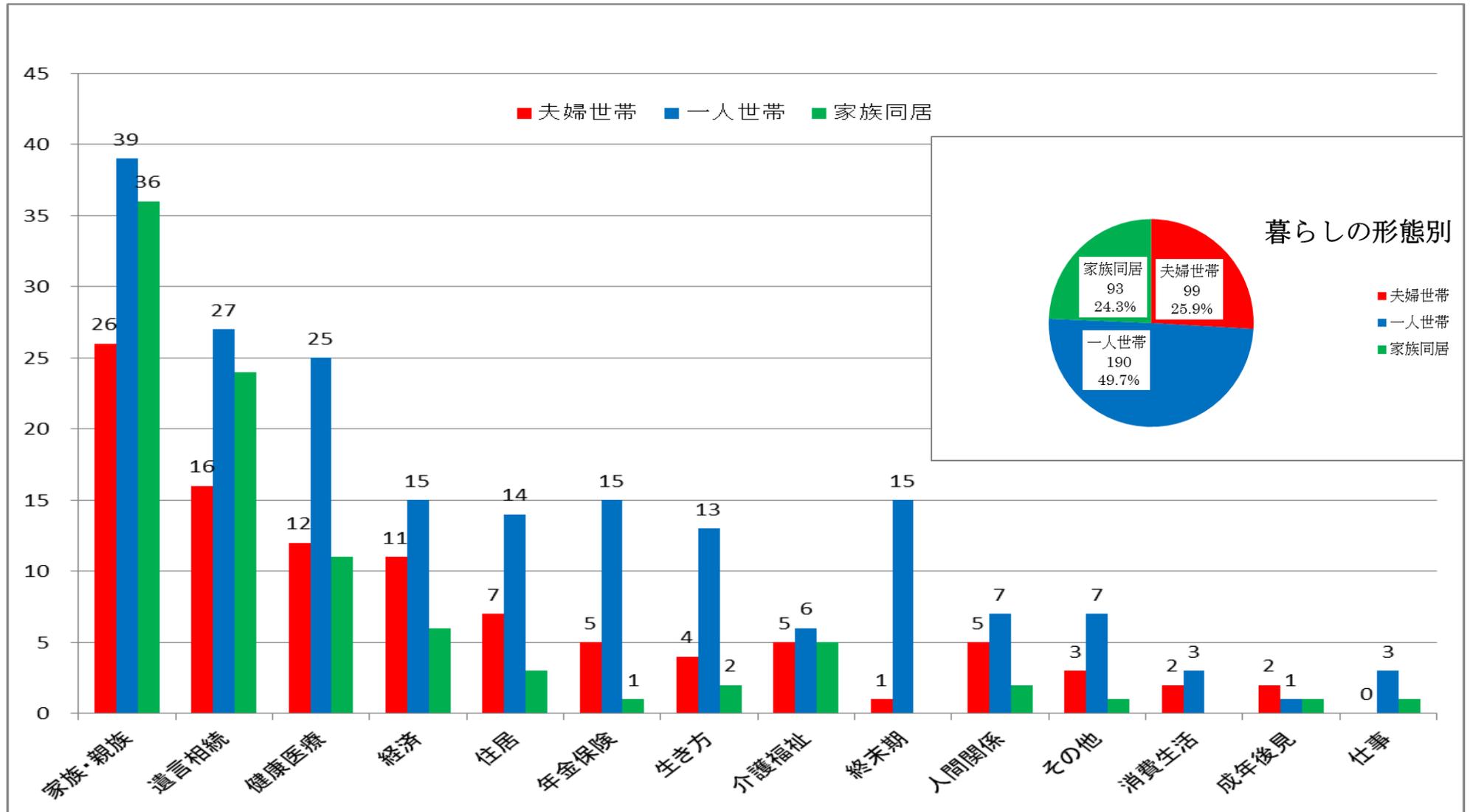
実施日：平成24年9月22日・23日



全国一斉特設電話相談「シニアの悩み110番」
暮らしの形態別 相談内容順位グラフ

(資料 - 7)

実施日：平成24年9月22日・23日



全国一斉特設電話相談「シニアの悩み110番」
協会別 暮らしの形態別グラフ

(資料 - 8)

実施日：平成24年9月22日・23日

